

おぐし



2021

9

No. 803

● 広報

白百合保育園で8月25日に行われた避難訓練はお昼寝時に地震が発生した場合を想定したものでした。子どもたちは非常ベルが鳴ると、すぐに先生のそばにかけより迅速な避難を開始しました。町内各保育園では、様々な状況を想定した避難訓練を毎月行い、子どもたちの安全を守っています。

9月1日は
『防災の日』



▲異なる木材に触れて木育に繋がります
(テーブルごとに材質が違います)

今年度は13人の学生が演習を受講しており、イスや机、読書スタンドなど、アイデアあふれるデザインが生まれています。8月22日には開発総合センターで発表会を開催し(学生及び関係者はオンライン参加)、それぞれの学生から自分がどのような思いでデザイン

小国町では、町内産木材の利活用と各世代における木育の取り組みをすすめています。その一環として、東北芸術工科大学のプロダクトデザイン演習を平成27年度から受け入れており、演習では学生が小国町の暮らしや子育て環境について学び、小国の3歳児のための家具をデザインしています。

白い森で育つ 3歳児のための 優しいデザイン

これから、小国町の子どものために考えられた、優しいデザインが白い森の木々を使用した家具となり、たくさんの人に使用してもらえるよう、町としても応援していきます。

の中から来年度の3歳児に贈る家具が選ばれる予定です。

したのか発表してもらいました。作品のうちの1つの「BuSuKu(ぶすく)」という家具は、「違う木材で同じ形の家具にすることで、普段感じることのできない木の重さを実感してほしい」という子どもたちへの思いを込めたそうです。今後さらに検討が重ねられ、こ



小国町観光ガイド『OGUMOGU (おぐもぐ)』モデルコース・マップが充実！！

小国町観光協会では、小国町をまるごと楽しみ、もぐもぐ味わい尽くす『OGUMOGU (おぐもぐ)』を今年5月にリニューアルオープンしました。

OGUMOGUでは、おもに観光モデルコースを紹介しており、現在、Googleマップと連動したルートマップの掲載準備を進めています。ナビにも大変便利になりますので、皆さんも一度ご覧いただき、是非お知り合いにもご紹介ください。



掲載している観光モデルコース

- ・自然をまるごと遊びつくすコース
- ・蕎麦と紅葉を愛でるコース
- ・白い森の冬を満喫するコース
- ・春の訪れ、桜めぐりコース
- ・歴史とロマンにふれる旅
- ・クマとマタギを学ぶ旅
- ・真夏のひんやりプラン
- ・秋の味覚を収穫コース

16歳以上 接種対象者数	1回目 接種済者数	2回目 接種済者数	2回目 接種済割合
6,492人	5,187人	4,277人	65.9%

※町接種会場での接種状況（8月23日現在）

12歳～15歳のかたへの ワクチン接種を開始します

現在、16歳以上のかたへのワクチン接種が順調に進んでいることから、9月下旬から12歳から15歳のかたへのワクチン接種の実施を予定しております。なお、16歳以上のかたの集団接種は9月で終了とします。現在、接種ができなかったかたのために、10月以降に町立病院で個別接種ができるよう体制を調整中です。詳細が決まりましたら、広報やHP等でお知らせいたします。

■対象者 小学校6年生で12歳の誕生日を迎えたかたから中学校3年生まで

■場 所 小国町立病院
(小児科での個別接種を予定しています。)

■その他 実施日や予約方法など詳細については、9月中に対象のかたへ送付するワクチン接種券に同封します。

■問合せ 健康福祉課地域保健担当（☎61-1000）へ

新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止 特別集中期間 実 施 中

8月20日（金）～9月12日（日）

県民の皆様へ

- 県外との不要不急の往来は厳に控えて。
- 外出は普段の2分の1に。
買い物も短時間で。
- 会食はいつも一緒にいる人と3人以内、1時間程度で。
(お店を利用する場合は、できるだけ新型コロナ認証店で)
- 感染リスクの高い行動後は、家庭内でも不織布マスクの着用を。
- ワクチン2回接種後もマスクの着用を。

山形県

海外渡航の際に必要なかたへ 新型コロナウイルスワクチン接種証明書を交付します

海外の渡航先への入国時に、相手国等が防疫措置の緩和を判断する上で活用されるよう、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の事実を公的に証明する接種証明書を交付します。

■対象者（以下の条件どちらにも当てはまるかた）

①小国町から発行された接種券により、予防接種を受けたかた

②海外渡航の予定があり、接種証明書の所持により渡航先で防疫措置等の緩和を受けられるかた

■申請方法 健康福祉課窓口で申請してください。

■必要書類 本人が申請する場合

①新型コロナウイルス感染症予防接種証明書交付申請書

②有効期限内のパスポート

(旧姓・別姓・別名の記載がある場合はそれらが確認できる書類の写し)

③接種券台紙

※本人以外や郵送での申請を希望する場合は、HPをご覧ください。

■その他 接種証明書が利用可能な国や地域の一覧については、外務省HPをご覧ください。

制度全般に関する問合せは新型コロナワクチンコールセンター（☎0120-761-770）へ

■問合せ 健康福祉課地域保健担当（☎61-1000）へ

数多くある『まち』の中から小国へ

「これからも選ばれる『まち』に」

小国町の人口は、昭和30年には18366人を記録しましたが、その後減少を続け、令和2年10月1日を基準日とした国勢調査（速報値）では、7108人になりました。

出生数の減少が大きくなるほど、人口減少が進行しています。が、その中で、期待されるのは、本町の豊かな自然や、特色ある町の産業、文化などに興味を持ち、移り住むかたがたです。

今月は、これからの人生を過ごす『まち』として、小国町を選んでくれた移住者のかたの話を聞き、私たちの気づかない魅力を探しながら、移住促進の取り組みについて考えます。



移住者コミュニティつむぐ・芋煮会（令和2年11月）
多くの移住者のかたとつながる場に

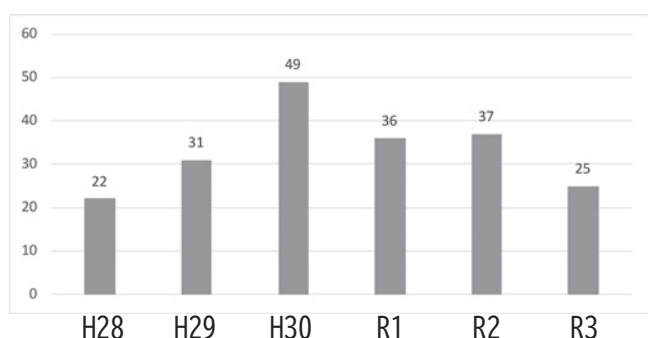
特集 数多くある『まち』の中から小国へ - これからも選ばれる『まち』に -

深まる 地方への興味

地方自治体と連携して地域の情報を提供し、移住相談などに取り組んでいる認定NPO法人ふるさと回帰支援センターのHPアクセス数が平成23年と令和2年を比べるとその差は4倍以上増えています。これは移住を考える都市部のかたが全国各地の情報を得ようという動きの表れといえます。さらに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、東京圏在住者の地方移住への関心が増加していることがわかっています。(※図1) また、地方移住への関心理由で一番多いのは、「人口密度が低く自然豊かな環境に魅力を感じたため」という答えになっています。

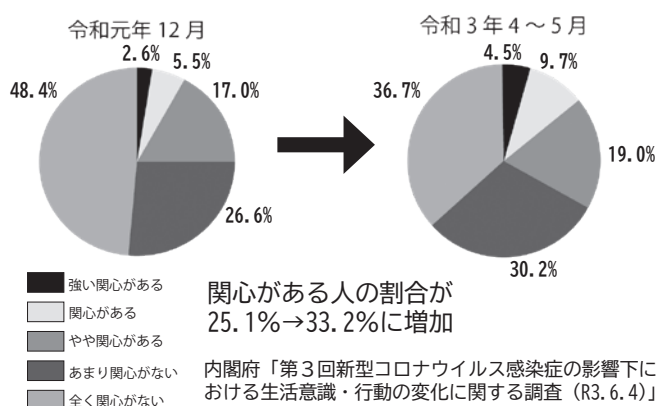
一方、県全体の移住定住を推進している(一社)ふるさと山形移住・定住推進センターによると、令和2年度に相談窓口を通じて移住した相談

移住者数の推移※2



転入手続きをされたかたで転勤・進学を除いた人数

地方移住への関心割合※1



者は、81組143人と、令和元年度の43組72人と比べ、倍増しており、相談件数も12.8%増加しています。

県の依頼により町が転入者に実施しているアンケート結果(※図2)でも、統計を取り始めた平成28年の移住者数22人に対し、令和2年度は37人と大幅に増加しています。移住施策の担当者は、以前に比べて、仕事も住む場所も決まらない状況で、小国に住むことだけは決めている若いのかたからの相談が増えていると話しています。

すれちがう車は 知り合いの車に

15年前に本町叶水地区に茨城県鹿嶋市から移住した増田光秀さんと景子さん。きっかけは輸入住宅の材木販売をしていた光秀さんが「こんなに国産材木が豊かなのに輸入材木を販売する必要があるのか」と仕事に疑問を感じたことに

あるそうです。叶水の知り合いが林業に従事していて、その話を聞いたたびに、町と林業の関係に興味が高まり、移住する決意をしました。増田夫妻は町の生活についてこう話してくださいました。「15年生活してきましたが、縁もゆかりもない私たちを仲間として受け入れてもらえたと感じています。集落の行事もすっかり優しく教えてもらえました。車ですれちがうかたが、気軽に手を上げて合図をくれる話を昔の友達に話すと驚かれます。それが私たちにとっては、当たり前になったことを嬉しく感じています。」よそ者扱いをされず受け入れてもらえた当時のことを、今でも覚えているそうです。現在、増田さんは空き家を購入し自分で少しずつ改修しながら住んでいます。「普通は、新築して年数がたちどんどん古くなっていきますが、私たちの家は、毎年少しずつ新しくなります。

特集 数多くある『まち』の中から小国へ - これからも選ばれる『まち』に -



▲愛猫とご自身でリフォームした自宅で

それも隣に住む大工さんの力を借りられる環境や時間に余裕が生まれる生活を過ごせるからです。」と、今の生活を大いに楽しんでいるようです。

生きる力を身に付けるために

「思ったより田舎じゃなくて、買い物も不便なく生活できています。」そう話すのは、今年4月に東京都葛飾区から小坂町地区に家族5人で移住してきたゆーへーさんとあかねさん家族（ご本人の希望に

よる表記）です。

昨年1年間を移住準備期間として移住相談会などに参加し、数多くの市町村の話を聞き、訪れた上で小国町を選んでいます。ゆーへーさんは「父が鶴岡市出身だったこともあり、移住するなら山形県がいいなという思いがありました。その中で自然が豊かで狩猟が盛んな地域を探しているときに、動画サイトで女性マタギのかたの映像を見ました。そこでは、雄大な自然の中で、遅く生きてきたマタギを継承していく様子が紹介されており、私も自分の力や知識で生きていく力をつけたいと感じ、小国町に移住することにしました。」と話してくださいました。また、あかねさんは「いろいろな市町村の移住担当者のかたと話しましたが、小国町は移住相談者の希望を聞きとり、地域のかたとつなげてくださり、町がすぐく移住に力を入れていると感じたの



▲子どもたちは川遊びで真っ黒です

も大きかったです。」大切に受け継がれてきたマタギ文化と、これまで町が取り組んできた、移住相談の形がお二人の移住の後押しになったようです。

ゆーへーさん、あかねさん家族は、小国町に移り住んだ当初からご近所のかたに野菜のお裾分けをたくさん頂戴したり、子どもたちが風邪を引いたときに診てもらおうおススキの病院を教えていただいたりと優しくしていただき、想像していたより、地域にすぐ溶け込むことができたことを

嬉しく思っているそうです。

教えられることは教えたい

金目・明沢班でマタギをしている木村慶政さん（古田）は、ゆーへーさんのようなマタギや山に興味があつて町に訪れる若者を受け入れ、マタギの集まりや山菜・きのこ狩りに山へ連れていっています。「昔は住んでいる地域外の間人が熊狩りに参加することはできませんでした。今は、地元若い人で山に入る人がいなくなつてきて、これまで続いた素晴らしい伝統文化を残していくため、外の人で興味を持っていてくれるかたにいろいろ教えていきたいと考えています。私が所属する班も17人のうち、12人が60代になり、今教えていかなければ、教える人がいなくなり、続けていくことができなくなってしまう。」と危機感を感じ、教えられることは伝えていき



▲木村慶政さん（古田）

いと話してくださいました。今回、ゆーへーさんから町にマタギのかたを紹介してほしいという話があり、木村さんをご紹介しました。このように、移住者のかたが興味があることに精通しているかたを自分たちだけで見つけようとすると、難しく上手くいきないうことも多いと思います。この事例のように、町の取り組みとして、こういった思いで移住してくるのかを汲み上げて地元の人たちとマッチングしていくことも今後重要なことになると思います。

広がるつながり

移住者の多くは、町にゆかりもなく訪れるため、親戚や友達ほとんどいません。そのため、職場や地域、子どもがいれば保育園や学校関係といったように知り合うかたも限定的になってしまします。そこで移住者同士や興味のある分野の町民のかたなどと知り合う場を創出するため活動しているのが「移住者コミュニティ（以下「つむぐ」）です。あかねさんも、「つむぐ」で開催された笹だんごづくりやワラビのアク抜きなどの「町のお母さんの知恵を学ぶワークショップ」に参加したことで、小国特有の技法や食べ方を知ることができました。これをきっかけに今は、講師で参加した舟山秀子さん（足野水）から、個人的に詳しい調理法を教えていただくなどつながりが広が

がってきています。こうした活動が続けられ、移住者が移住者同士だけでなく、町のかたと深く関わり合っていくことで、町を深く知ることにもつながるのではないのでしょうか。「つむぐ」では、他にも月1回程度のイベントと第2・4水曜日にお茶会サロンを開催しており、参加メンバーがそれぞれやりたいことを企画して作り上げています。新たな取り組みを含め、今後の活動も注目されます。



メンバー募集中！
私たちと一緒に
小国町を楽しみましょう！
お気軽にご連絡ください。



移住定住の 取り組み

移住されたかたがたに話をお聞きすると、受け入れてもらった地域のかたの優しさに対しての感謝の言葉を耳にします。遠く離れた『まち』から小国を選び、移り住んだかたは少なからず不安を抱えています。このような中、始まる新生活を地域のかたが優しく見守り、時にはお裾分けなどをして関わりが深くなり、移住者の不安が解消されることで、小国町の一員になっていくのだと思います。町では、移住に関する不安を軽減するため、住居や仕事を探す目的で来町するかたを対象に交通費や宿泊費を補助する「お試し滞在補助金」やゲストハウスの無料貸し出しを行っています。今後またくさんのかたに選ばれる『まち』を目指して多様な取り組みを展開していきます。

東京パラリンピック聖火フェスティバル
ひきりしき

大宮子易両神社で火鑽式・採火式

8月24日から開催されている東京パラリンピックに先立ち、全国各地で採火が行われ、小国町では8月10日に大宮子易両神社で古式神事にのっとり火鑽ろくろを使って火種を起こし、陰灯にうつす火鑽式から始まり、その火をランタンにうつしパラリンピックの成功と疫病退散を祈る採火式が行われました。16日には天童市で集火式が行われ、県内市町村から持ち寄せられた火が1つとなり「やまがた未来の火」として東京へ届けられました。



夏休みチャレンジウィーク

夏の学校 地域体験学習講座



8月6日から12日にかけて、町内旧小学校区各所を会場に地域体験学習講座が開講されました。11日に旧伊佐領小学校で行われた「むかしのあそびをたいけんしよう」では、竹を切るところから製作する竹とんぼや竹の水鉄砲づくり体験をしました。参加した子どもたちは、地域のかたがたに教わりながら、夢中で作業していました。その他、笹巻きづくりやレクリエーションスポーツ、パークゴルフ、ガムラン演奏など様々な体験が行われました。

快挙！全国大会出場！！

小国中学校 女子バレーボール部 東北中学校バレーボール大会優勝！

陸上競技部 山形県予選会女子共通4×100mリレー優勝！

8月7日から8日に秋田県で行われたバレーボール女子の東北中学大会で小国中学校女子バレーボール部が優勝しました。11日に行われた優勝報告会では「みんなで東北優勝をつかみとれた」「最初は、東北大会で通用するのか不安だったが、勝ち上がることができてすごく嬉しかった」と話されていました。また、陸上女子共通4×100mリレー山形県予選会では、小国中学校陸上競技部が優勝しました。同日、両チームの選手には、町やスポーツ協会等から全国大会出場激励金が手渡されました。



小国中学校 女子バレーボール部



小国中学校 陸上競技部女子リレー選手

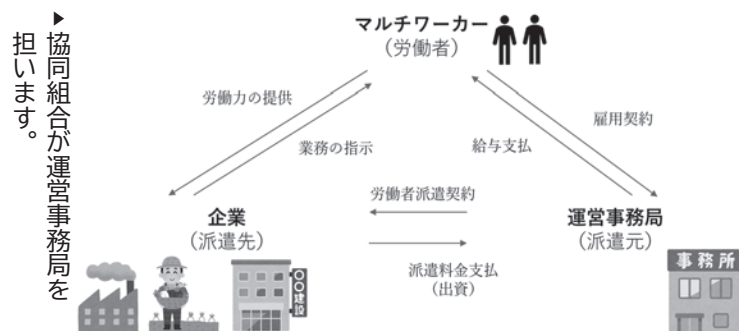
県内初！！マルチワーク導入

おぐにマルチワーク事業協同組合 創立総会開催

「マルチワーク」とは、季節や時間帯により複数の仕事を掛け持ちすることを指します。山村部では昔から、夏は農作業、冬は手仕事といったように、季節によって違った仕事に就くことが当たり前でした。特に小国町では、その雪の深さから季節ごとに全く違う仕事をするのも珍しくありません。そのような小国らしい働き方を、移住者や移住を検討しているかたがたにも提供しやすくする仕組みが「おぐにマルチワーク事業協同組合」です。

8月5日に町役場で事業協同組合の創立総会が開催され、代表理事に就任した吉田悠斗さん（樽口・元地域おこし協力隊員）は「3年間過ごしてきた小国は僕にとってかけがえのない故郷になりました。人口減少による、地域の担い手不足に対応するため、小国らしい働き方・暮らし方を推進し、田舎暮らしをしたいと考えている町外のかたに様々な仕事や暮らしを提案していきたいです。」と話されました。

今後は、本町への移住者や、学生時代等に町に関わった経験を持つかた、「山の麓の仕事」に魅力を感じて集まってくれるかたがたなどを組合で雇用し、町の課題である担い手の確保や、移住・定住促進の一助となることが期待されます。



「 拠 点 」

地域おこし協力隊 中原 凌 なかはら りょう

協力隊通信

series 65

残雪があった山々も新緑に染まり30℃を越える猛暑日が続いていますね。毎晩力エルの大合唱の中で眠り、セミの鳴き声で起こされる朝。小国町2度目の夏が始まったなと実感しております。

地域おこし協力隊に着任してから早3ヶ月が経ちました。昨年度は緑のふるさと協力隊として1年間農山村の生活、農林畜産業など自分が興味があることを体験しましたが、現在は東部地区の集落支援として叶水保育園を拠点にサロンの運営や地区の情報発信、地域のかたのお手伝いをしています。叶水保育園では地区のかただけではなく町内の皆さんが足を運んでくれるような『場』を作っていきたいと思っており、その第1弾として、先月から地区のかたからの要望もあり、無料フリーマーケットや映画上映会などを開催しました。着なくなった服をただ処分するのではなく「次の貰い手」につなぐといった、リサイクル活動が良い環境作りへの一歩になるのではないのでしょうか。興味のあるかたは是非遊びに来てください。



未来に伝えたい

白い森おぐにの

文化遺産

その5 小国盆地と先史遺跡

はその辺りに湖が広がっていたことが示されました（川辺ほか2014）。

考古学的に、約1万2千年前というのは、土器が作られ始める縄文時代草創期にあたります。これ以降、縄文時代早期、前期、中期、後期、晩期と、約2400年前までの1万年間以上にわたり縄文時代が続きます。一方、縄文時代の前は、石器や骨角器（動物の骨や角、牙などを加工して作った道具類）を用いて狩猟漁撈採集生活が営まれた旧石器時代になります。

本町にある先史遺跡の調査研究に長年たずさわってこられた渋谷孝雄氏（山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館館長）によると、本町は、約3万年前とも言われる岩井沢遺跡をはじめ、後期旧石器時代から縄文時代晩期まで、ほぼ連続して生活痕跡が確認される県内で唯一の市町村とのことです。

その中で、旧石器時代から縄文時代への移行期のものとされるのが東山紺野遺跡（約1万5千年～6千年前）で、そ



▲経塚山から見える小国盆地西部
（平成31年3月撮影）

江戸時代、笹生代官らにより開墾が進められた三岡の一つ、増岡。9月に入ると、一帯に広がる田んぼでは稲穂の頭が垂れ、稔（みの）りの気配が漂い始めます。

増岡は小国盆地の西部に位置し、西方に沖庭山を仰ぎます。あまり実感しにくいのですが、この沖庭山地東側には南北方向の断層（小国断層）があり、小

国盆地はそれがずれてできた断層盆地とされています。

現在、盆地内を流れる荒川・横川の水は、出口にある赤芝峡を抜け、下流へと流れ出ていきます。しかし、『小国町史』によると、その河谷が形成される前は盆地に湛水（たんすい）し、湖が広がっていたようです。ただし、どの辺りまで湖面があったのかは不明とされています。また、それがいつ頃のことなのかも書かれていません。

そのような伝説とも言うべき小国盆地の湖。それが、確かに存在したことを科学的手法で明らかにしたのが、山形大学の川辺孝幸教授（当時）と、その指導を受けた小国高校生たちでした。平成26年、「地域文化学」の授業として大宮でおこなわれた調査から、約1万2千年以前

こから出土した黒曜石製石器は平成31年3月、町の文化財に指定されました。本遺跡は、現在の総合スポーツ公園付近、標高170mのところにあります。先ほどの調査がおこなわれた地点（標高142m）よりも高く、当時は湖畔に位置していたのかも知れません。その暮らしは具体的にほとんど分かっています。が、周りの野山に加え、目の前に広がっていたであろう湖も大切な生活の場だったのではないのでしょうか。

小国盆地周縁部をはじめ町内各地に、そのような謎に包まれた先史時代の暮らしへと想像をかき立ててくれる遺跡が数多く眠っているのです。

参考文献

川辺孝幸・土井里子・小国高校2014年度「地域文化学」第1班 2014年「小国盆地は縄文時代草創期には湖だった」『環境地質学シンポジウム論文集』24、113～116頁。

（教育委員会生涯学習室）

SDGs推進事業



ブナの森で森林浴を楽しみませんか

「私たちが住む小国の森」を楽しむことがSDGsの目標である健康増進や森林環境教育、地方創生、森の活用にも繋がることを森林浴という視点から学びます。

また、森林セラピストの小野なぎささんと一緒に、森林セラピー®基地ブナの森「温身平」で木々の香りや小鳥のさえずり、葉のすれあう音、森の緑の美しさなどを五感で感じ、心身へのリラックスを促す森林浴を体験します。

講師紹介

森と未来 代表理事 小野なぎさ

東京農業大学 地域環境科学部 森林総合科学科卒業後、森を人の健康に活用したいという動機から企業のメンタルヘルス改善に関わる事業に携わり、認定産業カウンセラー、森林セラピストの資格を取得。これまで述べ2,000人を森へ案内し、全国の地域と連携し森林資源を活用した観光プランづくり、企業研修、人材育成を実施し、執筆や講演活動を行う。

2019年～林野庁 林政審議会委員、2021年～緑の循環認証会議 評議委員会委員に就任。



第1部

SDGs研修会【森と森林浴のお話】

期 日：9月17日(金) 18時～19時30分

場 所：おぐに開発総合センター 2階 集会室

第2部

フィールドワーク【森林浴体験会】

期 日：9月18日(土) 9時～12時頃

場 所：森林セラピー®基地ブナの森『温身平』

集 合：天狗平ロッジ8時45分

※できるだけ、2日間ご参加ください。



申込はこちら

SDGsカードゲーム体験会 日程変更のお知らせ

9月4日に開催を予定していたSDGsカードゲーム体験会は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の影響により、日程を変更することになりました。既にお申し込みのかたには、個別にご連絡を差し上げます。

【変更後】※引き続き申込を受け付けます。ぜひご参加ください。

■日 時 10月30日(土) 13時～17時

①カードゲーム体験会 13時～ ②振り返りと講義 15時～

■場 所 おぐに開発総合センター 2階 集会室

■その他 SDGsカードゲーム製作会社(株)プロジェクトデザインが講師となり、SDGsの「なぜ」を学べる講座です。

申込はこちら



■申込・問合先 総合政策課政策企画担当 (☎62-2264) へ

小国まちづくりメディアラボ

OGUNI WALKER - 町の地域文化・芸能を発信 -

WEB・動画・写真を駆使した地域プロモーションを学ぶ
QRコードを読み込み、WEBページをチェック！！
こんなページをつくりませんか



メディアプロデューサーに求められる実践的ノウハウを伝授します。

講師に「まちづくりメディアラボシリーズ」を手がけるINSPIRE代表理事／BBT
大学教授 谷中修吾氏を迎え、月1回の全8回の集中トレーニングを行います。

地域プロモーションに関心のあるかた、スマホを駆使したWEBページ制作に興味のある
かた、どなたでも大歓迎です。

第1回講座 キックオフイベント（講師はオンライン参加）

■日 時 9月28日(火)18時～19時30分

■場 所 小国町役場 4階 大会議室

■その他 全講座の中では、Zoomミーティングによるオンライン講座も予定されてい
ます。スマホ・タブレットでもいいので、オンライン環境をご準備ください。

第2回講座 『地域メディアプロデューサーの技法を体得する』

■日 時 10月9日(土)～10日(日) 2日間

■場 所 町内各所

■内 容 講義とフィールドワークを交えながら、地域プロモーションに必要となる、①突
き抜けたコンセプト設計、②映えるスマホ撮影、③魅惑のコピーライティング、④超速の
WEBディレクションを超実践型の演習で体得します。

※3回目以降の講座内容については、HPでご案内します。

■申込・問合せ先 総合政策課政策企画担当（☎62-2264）へ



有料広告募集中 「広報おぐに」に広告を載せてみませんか

毎月1回（3700部、1日発行）

■サイズ

1種 横 8.7cm×縦 5.3cm

2種 横17.85cm×縦 5.3cm ※このサイズは2種広告になります。

3種 横17.85cm×縦11.5cm

■金額（1回あたり） 1種 6,000円 2種 10,000円 3種 30,000円

※掲載に関する詳細については、お問い合わせください。

■問合せ先 総合政策課政策企画担当（☎62-2264）へ

気になったかたはこちらをチェック!!



今年も！やります！！

きらきらお買物券 販売



12,000円分の商品券を10,000円で購入できます！
(1枚当たり1,000円の商品券が12枚)
1世帯50,000円まで購入できます。(10,000円単位)

■購入方法 (昨年までと購入方法が変更になっています。)

・応募ハガキに必要事項を記入の上、郵送またはまちの駅アスモ (アスモ1階) に設置する応募箱に投函してください。(応募ハガキは新聞折込 (9月10日 (金) 予定) チラシまたは買物券取り扱い店舗に設置します。) なお、1世帯あたり1通限りの申込となります。

■応募期限 9月30日 (木) (郵送の場合は当日消印有効)

■購入者への連絡 期限後、購入者に引換券を送付します。応募多数の場合は、抽選を行い当選 (引換券の送付)、落選のご連絡をさせていただきます。あらかじめご了承ください。

■引換日 10月15日 (金) ~ 17日 (日) 会場はアスモ1階を予定しています。

■買物券有効期限 令和4年1月31日 (月)

■その他

- ・買物券取扱店舗は、新聞折込チラシ (9月10日 (金) 予定) に掲載します。
- ・買物券の購入は、引換券をお持ちいただき、現金と引換になります。
- ・その他詳細については、新聞折込チラシ (9月10日 (金) 予定)、または小国町商工会HPをご覧ください。

■問合せ先 小国町商工会 (☎62-4146) へ



HPはこちら

令和4年産「つや姫」生産者・ 「雪若丸」生産組織の募集について

■申請書

町・JA・米集組合・各総合支庁農業技術普及課で配布しています。

■提出先

「つや姫」産業振興課へ
「雪若丸」西置賜農業技術普及課へ

■提出期限 9月10日 (金)

■認定要件

水稻作付面積や栽培方法などの要件あり

■その他

令和2年度 (令和3年産) に認定・登録されているかた (組織) も申請が必要です。

■問合せ先 置賜総合支庁西置賜農業技術普及課
(☎0238-88-8213) へ



レッツ！保育のお仕事へ

保育士就職・再就職支援研修会

保育士として再就職を考えているかた、保育の仕事に興味のあるかた、ぜひご参加ください。

■日時 10月7日 (木) 13時~16時

■場所 置賜総合文化センター (米沢市)

■内容

- ・講演「保育現場の移り変わり」と保育士の役割
- ・事例報告
- 「子どもとのふれあい~保育士の仕事の魅力~」
- ・保育施設との相談会
- ・保育の職場実習 (希望者のみ研修とは別日程で1日)

■参加料 無料

■対象者 保育士として就職 (再就職) をかかんがえているかた、保育の仕事に興味のあるかた

■届出・問合せ先

県福祉人材センター (☎023-633-7739) へ

9月10日(金)～16日(木)までは 自殺予防週間

もし悩んでいたら
相談しませんか

【こころの健康相談統一ダイヤル】

自殺予防週間の期間中全国共通の電話番号を設定します。一人で悩むより、まず相談してください。

■受付期間および時間

9月10日(金)～16日(木) 9時～17時(土、日含む)

■電話番号 ☎0570-064-556

(おこなおう まもろうよ こころ)

「心の健康相談ダイヤル(山形県)」

☎023-631-7060

■その他 自殺予防週間以外も(月)～(金)までの9時～17時まで(昼を除く)相談を受け付けています。(祝、年末年始除く)

【自死遺族相談】

大切な人を自死で亡くされたかたが安心して語れる場所として「個別相談」と「集い」を開催しています。

■個別相談

精神科医師等による個別相談(予約制)

■集い

亡くされたかた同士の語り合い・わかち合い
(月1回)

■申込先

県精神保健福祉センター(秘密厳守)
(☎023-674-0139)へ

コンポスター・堆肥化バケツ の購入補助について

手軽に生ごみを減量し堆肥に変えられるコンポスターや堆肥化バケツの購入費用を一部補助します。上手に活用して、家庭の生ごみを減らしましょう。

■対象者 町内に住所を有するかた

■補助額 購入額の2/3(上限4,000円)

■申請期間 9月1日(水)から30日(木)まで

■留意事項 ①購入前に申請が必要です。事前に事務局にお問合せのうえ、お手続きください。②申請多数の場合は抽選となりますのでご了承ください。③補助金の交付は、購入後、実績報告書と領収書を提出していただいてからになります。

■問合せ先 小国町衛生組合連合会事務局

(役場町民税務課内☎62-2260)へ

ごみステーションの 整備補助について

■対象者 各地区衛生組合長

■補助額 整備額の1/2(上限8万円)

■申請期間 9月1日(水)から30日(木)まで

■留意事項 ①整備前に各地区衛生組合長による申請が必要です。事前に事務局にお問合せのうえ、お手続きください。②修繕は対象外です。③補助金の交付は、整備後、実績報告書と領収書を提出していただいてからになります。

■問合せ先 小国町衛生組合連合会事務局

(役場町民税務課内☎62-2260)へ

入札結果情報(令和3年7月21日～令和3年8月20日実施)

単位(円)

入札日	工 事 名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
R3.7.26	令和3年度小坂町揚水ポンプ制御盤更新工事	小国小坂町	R3.11.30	5,500,000	猪野電気工事(株)	5,100,000
R3.7.26	令和3年度小国町水道事業 針生水源地取水井戸補助ポンプ設備更新工事	針生	R3.10.29	4,553,000	産電工業(株) 山形営業所	4,350,000
R3.8.20	令和3年度道の駅芝広場斜面緑化整備工事	小国小坂町	R3.11.30	18,166,000	遠藤建設(株)	18,000,000
R3.8.20	令和3年度宮田沢川護岸工事	大宮	R3.10.31	3,817,000	(株)船山工務店	3,500,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。

家庭教育電話相談のご案内

ふれあいほっとライン

☎023-630-2876

子育ての悩みを1人で抱えず、電話でお話ください。相談員と一緒に考えます。相談内容の秘密は守ります。

子どもからの直接の相談にも応じます。



■日時 (月)～(金) 8:30～17:15

【相談員対応9:00～16:15】

■休業日 (土)、(日)、(祝)、年末年始は休み

■その他

Eメール、FAXは24時間受付しています。

E-mail: yshogaku@pref.yamagata.jp

FAX: 023-630-2874

■問合先 県教育庁生涯教育・学習振興課
(☎023-630-2872) へ

総合センター図書室から

～新着図書～

休館日 毎週月曜日・祝日

◇彼岸花が咲く島	李 琴 峰
◇氷柱の声	くどうれいん
◇スモールワールズ	一穂 ミチ
◇漁港の肉子ちゃん	西 加 奈 子
◇高瀬庄左衛門御留書	砂 原 浩 太 朗

認知症サポーター養成講座

認知症について正しく知るために
出前講座を開催します

高齢化が進む中、地域に住むひとり一人が認知症について考え、支え合う取り組みが必要とされています。

自分自身のため、家族のため、地域で暮らす皆さんのため、認知症とはどんな病気なのか、どのように接したらいいのか、認知症について学んでみませんか。

地域包括支援センター職員が、地域の公民館や職場など、ご希望の場所へお邪魔して講座を開催します。

■講座内容

認知症の症状・診断・治療・予防・認知症の人との接しかたなど

■申込方法

下記担当までご連絡ください。ご希望に合わせ、日時を調整します。

■問合先

小国町地域包括支援センター担当
(☎61-1001) へ

※認知症サポーターとは

認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を全国で養成し、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに取り組んでいます。

広告



小玉川小学校 (昭和35年頃)

11月中旬刊行 限定1500部

ご予約はお近くの書店へ!

写真が語る

置賜の100年

◆置賜地方の100年のあゆみを600枚の懐かしい写真で紹介
◆町並・建物・交通・祭り・学校など大正・昭和・平成の熱い記憶と青春の思い出が満載!

仕様: A4判・上製本・280頁・写真600枚 定価 9,990円(税込)

ホームページで掲載写真の一部を紹介しています。 **いき出版** で検索!

発行元 株式会社いき出版 TEL0258-89-6555 発売元 株式会社山形県教科書供給所 TEL023-666-7744

募集

町営住宅入居者募集

町営住宅あけぼの高齢者団地

1LDK 1戸（1階）

■対象

▽世帯状況に応じた所得制限あり
▽60歳以上で自立した生活を送ることができるかた（同居する配偶者または60歳以上の親族がいる必要があります。）

◎家賃 所得により決定

◎敷金 家賃の3カ月分

◎募集期限 9月10日（金）

◎入居時期 10月上旬以降

◎問合せ

地域整備課建設管理担当

（☎62-2431）へ

お知らせ

クリーニング師試験のご案内

■日時 11月17日（水）

①学科試験 10時～11時30分

②実技試験 12時50分～

■場所 山形県庁（山形市）

■試験科目

- ①衛生法規、公衆衛生、洗たく物の処理に関する知識
- ②アイロン操作、繊維の鑑別、シミ抜き用薬品の選定

■願書配布

各総合支庁保健福祉環境部生活衛生課で願書を配布

■受付期間

9月22日（水）～10月13日（水）

■費用

10000円

（県収入証紙）

■問合せ

置賜総合支庁（置賜保健所）生活衛生課営業衛生担当（☎0238-2213873）へ

ハロウィン仮装写真コンテスト

申し込んだいた皆さんの写真が文翔館に展示されます。

■募集期限 9月30日（木）

■申込方法

文翔館HPから写真を送付（仮装内容等についてもHPをご確認ください。）

応募はこちらから→



山形県よろず支援拠点のご案内

中小企業・小規模事業者・創業希望者等の皆さまへ

経営上のあらゆるお悩み、「山形県よろず支援拠点」にお気軽にご相談ください。

直接のお電話でも、最寄りの金融機関支店、商工会経由でも結構です。12人の経験豊富なコーディネーターが売上拡大、経営改善等の経営課題解決に向けて、無料で何度でも、結果が見えるまで伴走応援します。

■問合せ

総合窓口（山形市）
（☎023-647-0708）へ
ホームページ
<https://yoro-zu-yamagata.com/>

無料調停相談会開催

あなたに平穏な生活を取り戻すため、調停員が下記のお悩みを個別に聴き取り、調停を進めていくための具体的な方法をご説明します。お気軽

にお越しくください。

■相談内容

- ①夫婦・家族間問題
- ②DV（夫婦間の暴力）
- ③遺産相続
- ④金銭貸借・多重債務
- ⑤土地の境界問題・近所とのトラブル
- ⑥交通事故のトラブル

■日時

10月2日（土）10時～15時

■場所 小桜館（長井市）

■主催元 長井調停協会

■問合せ

長井簡易裁判所（☎88-2073）へ

山形県下水道協会

第31回排水設備工事

責任技術者

県内統一試験のご案内

■日時

11月14日（日）13時～15時30分

■場所

協同の社J△研修所（山形市）

■その他

希望者を対象に受験講習会を開催します。

■問合せ

地域整備課水道業務担当（☎62-2431）へ

イベント等の中止について

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、下記のイベント等について中止となりました。

○総合防災訓練

■問合せ先

総務課（☎62-2112）へ

○春の道路一斉清掃

（延期していましたが、今年度の中止を決定しました）

■問合せ先

町民税務課（☎62-2260）へ

○白い森スポーツフェスティバル（旧サマースポーツ）

■問合せ先

教育振興課（☎62-2141）へ

○高齢者顕彰式

■問合せ先

健康福祉課（☎61-1000）へ

子育て支援センターから

■9月の広場日程

広場名称	曜日	時間	申込
なかよし広場	月～金	9:30～11:30・13:00～15:30 （水・金は午後のみ）	不要
子育て講座 「エアロビクス」	9/9(木)	10:20～11:20・総合センター集会室 ※動きやすい服装でタオル・飲み物をお持ちください	要
「ヨガ」	9/16(木)	10:20～11:20・総合センター集会室 ※動きやすい服装でタオル・飲み物をお持ちください	要

※コロナ感染状況により中止になる場合があります。

■対象者 就学前のお子さんとお家のかた

■利用時の注意点

- ・マスクの着用をお願いします。
- ・平熱より1度高い場合は発熱となり利用できません。
- ・体調の悪い場合は、利用できません。

■その他 お気軽にご参加ください。平日はいつでも子育て相談をお受けしています。

■問合せ 子育て支援センター（おぐに保育園内 ☎62-2330）

休日当番担当歯科医のお知らせ

9月5日(日)	南陽 桜井歯科医院	0238-43-2125
9月12日(日)	米沢 プリリー歯科クリニック	0238-22-4182
9月19日(日)	長井 岩崎歯科医院	0238-85-2003
9月20日(月)	米沢 くまの歯科	0238-24-2085
9月23日(木)	高畠 わたなベデンタルクリニック	0238-56-3888
9月26日(日)	米沢 三條歯科医院	0238-23-2206

求 人 情 報

右の表は8月20日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。求人情報の詳細については、ハローワーク長井（☎84-8609）へ

今月の納税 2021.9

9月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●9月27日(月) 水道料

●9月30日(木) 固定資産税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合せ先

町民税務課税政管理室
（62-2403）へ

事業所名	職種	求人数	勤務時間
クアーズテックマシナリ(株)	技能職	1人	8:20～17:10
医療法人社団 緑愛会 満天の家	介護職（交替制）	1人	6:45～15:45他
(株)高橋工務店	土木技術者	2人	8:00～17:00
	建築技術者	2人	
	現場作業員	2人	
荒川興業(株)	(請) 製造加工【アークカーボン加工 メッキ工程】臨時職員	1人	8:20～17:10他
	(請) 製造加工【アークカーボン加工】臨時職員	1人	
	製造加工/臨時職員	1人	
長谷川工業(株)小国工場	加工スタッフ（カーボン）	1人	8:15～17:15
(株)山芳工務店	電気設備工（見習い）	3人	9:00～18:00
(有)豊嶋石英硝子	石英硝子の加工	2人	8:30～17:00
山和建設(株)	二級土木施工管理技士・二級建築施工管理技士【本社】	3人	8:00～17:00
	一級土木施工管理技士・一級建築施工管理技士【本社】	3人	
日本重化学工業(株) 山形事業所小国工場	電子材料の製造等スタッフ（アルバイト）	2人	8:15～17:15

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。

※町ホームページに求人情報を掲載しています。



戸籍のまど

（ 7 月 届 出 分 ）

誕生おめでとうございます。

大 滝 塚 原 ^{れい} 玲 （ 敏 望 哉 美 ）

結婚おめでとうございます。

（ 樽 口 渡 邊 拓 磨
若 山 舟 山 悠 ）

（ 金 目 斎 藤 亘
栃 木 県 篠 崎 有 紗 ）

おくやみ申し上げます。

兵 庫 館	舟 山	エミ子	(88)
緑 町	小野寺	宗 夫	(86)
栄 町	高 橋	健 二	(84)
町 原	渡 部	一 郎	(83)
五 味 沢	齋 藤	誠	(72)
玉 川	渡 邊	ミュキ	(92)
岩 井 沢	石 山	渡	(72)
小国小坂町	長谷部	ヤヨエ	(76)
北 小 池	勝 夫		(81)
岩 井 沢	井 上 市 郎		(71)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき（令和3年7月31日現在）

人口	男・・・	3,574人	(－ 5)
	女・・・	3,585人	(－ 5)
	計・・・	7,159人	(－ 10)
世帯数		3,030世帯	(－ 2)

編集後記

水帯の台風や線状降
り、大雨が災害に
つながるが、こと
が9月1日は防災
の日です。これ
を機会に非常時に備
えて持ち出し品等の確
認をしましょう。
さて、コロナの再拡
大により、イベント等
の中止が続いており、
広報の記事も寂しいも
のになっていきます。是
非、取り上げてほしい
ことがあればご一報く
ださい。（仁科）

9月の あいイベント カロリーニング教室



どなたでもできるニュースポーツです。

■日 時 9月21日(火)9:30～11:30

■対象者 どなたでも

■参加費 100円（保険料込）

■持ち物 室内シューズ、飲み物など

■申込締切 9月18日(土)

■申込・問合先

（☎ 62-5808）へ

特定非営利活動法人

おくにYui
スポーツクラブ

越後米沢街道・ 十三峠案内人養成講座



十三峠で活動するガイドとしての知識・技術を身に付けるための講座です。基本講座では十三峠や案内人の基礎知識、実践講座では十三峠コースを歩きながら案内のポイントを学びます。

〈第1回 基本講座〉

■日 時 9月25日(土)9:00～16:00

■会 場 健康の森横根（森林学習館、朴の木峠）

■内 容 越後米沢街道・十三峠の基礎知識、案内人の基礎、安全管理

〈第2回 実践講座①〉

■開催日 10月2日(土) ■会 場 宇津峠

〈第3回 実践講座②〉

■開催日 10月9日(土) ■会 場 黒沢峠

〈申込について〉

■定 員 15人

■対 象 十三峠に興味のあるかた、案内人としての活動に携わりたいかた

■参加費 1,000円（資料代、保険料等）

■申込締切 9月17日(金)まで

■申込・問合先

NPO法人ここ掘れ和ん話ん探検隊（☎62-5955）へ



●小国町役場 ☎ 62-2111 (代) fax 62-5464
 ●総務課 ☎ 62-2112
 ●観光経済室 ☎ 62-2416
 ●住民窓口担当／町民生活担当 ☎ 62-2260
 ●建設管理室 ☎ 62-2431

●総合政策課 ☎ 62-2264
 ●白い森ブランド戦略室 ☎ 87-0821
 ●国保医療担当 ☎ 62-2261
 ●建設技術室 ☎ 62-2432

●会計室 ☎ 62-2406
 ●農林振興室 ☎ 62-2408
 ●税政管理室 ☎ 62-2403
 ●議会事務局 ☎ 62-2448

挑め、ともに！

小国高校魅力化通信 ⑤

今年4月、小国高校生が地域の大人と連携し、空き家を改装した『ひみつきちプロジェクト』が始まりました。

小国町には、世代や国籍など様々な違いを飛び越えて交流でき、自分の好きなことができる場所がもっと必要だと考え、地域のかたと高校生が、

様々な学びにつながる場として『ひみつきち』を創ることになりました。

改修作業は、「天井ってどうやって張るんだろっ？」「ここで映画を見れるようにしたいなあ」「みんなでご飯を食べたらいいなあ」など、



Photo by 伊藤美香子

白い森『おぐに』に、
 みんなの遊び場
 「ひみつきち」
 を創りたい！



みんなでアイデアを出し合って、11月末の完成を目指し、時に大工さん時に近所のおばあちゃん力をあわせて進めています。

今後、ひみつきちでは、地域のかたが推薦する映画や本の紹介&鑑賞会、ボードゲーム大会、地域の皆さんとB&Bなどを開催していく予定です。

今、これを読んでいる皆さんも、みんなの遊び場『ひみつきち』を創る仲間です。一緒に『ひみつきち』を創りませんか？

問合先

高校魅力化推進室（開発総合センター2階）（☎ 62-2141）へ

コロナに負けないお店紹介 vol. 8

「コロナに負けないお店紹介」と題し、シリーズで感染防止対策に取り組み営業する飲食店を紹介していきます。（メニューは税込み価格です。）

麺酒場 ひび喜（栄町）

電話

62-31153

営業時間

昼11時30分～13時30分
 夜17時30分～（日）祝定休

店主より一言

まぜそばや鳥からあげ（もも）（650円）等、テイクアウトできるメニューも多数あります。是非ご利用ください。



まぜそば（普）850円
 （中）100円増し（大）200円増し



ホットサンド（コーヒー、サラダ付）500円

あんびんや（栄町）

電話

62-2113

営業時間

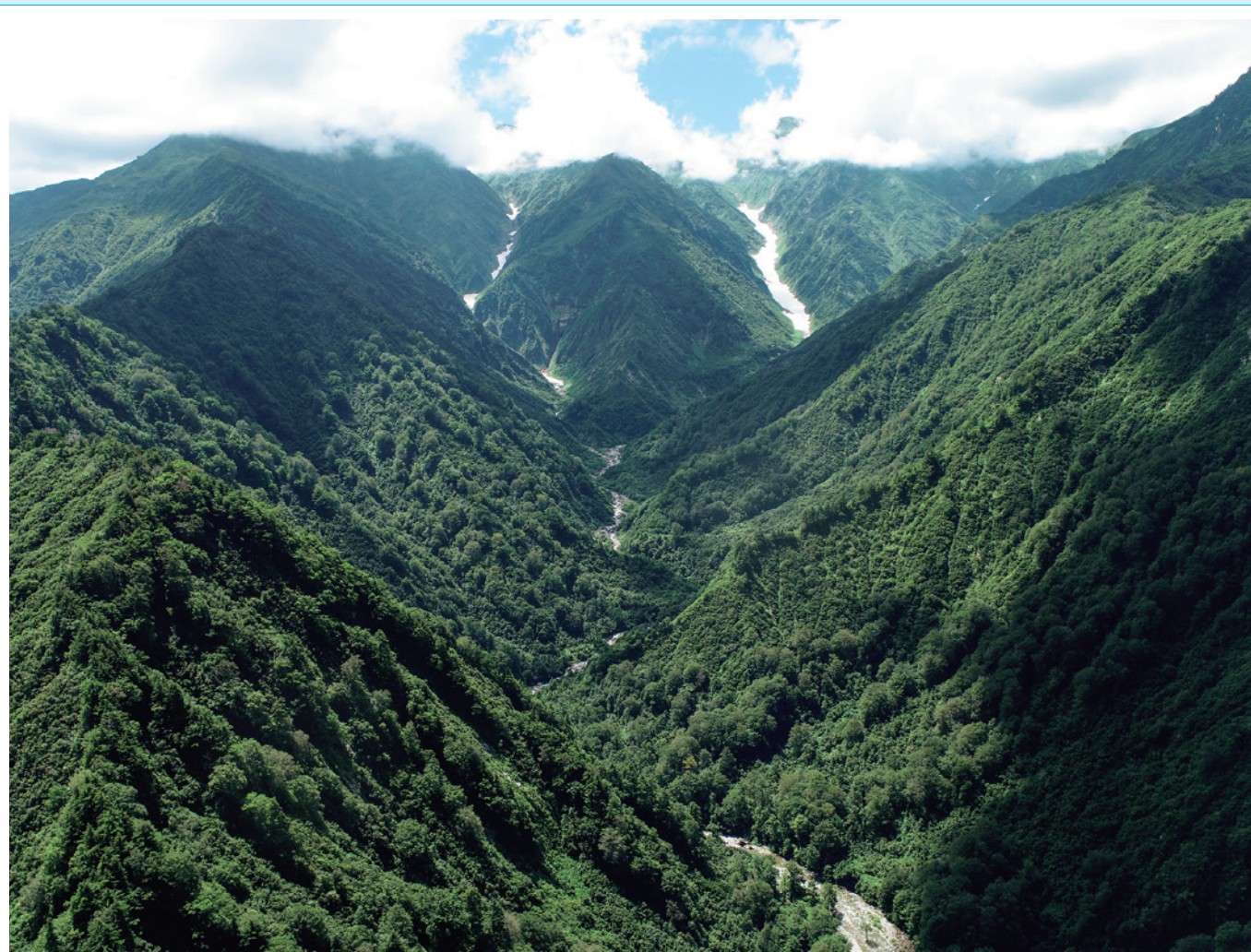
9時～21時（日）定休

店主より一言

あんびんはもちろん冷やし中華（600円）等の店内メニューもお待ちしております。是非一度食べに来てください。

ドローンがみた、 おぐにの風景

No.27



②石転び沢雪溪

平成18年4月に森林セラピー®基地として、全国で初めて認定されたブナの森温身平。なだらかで歩きやすいメインロード（2.1km）を抜けると、飯豊連峰が眺望できる広場があります。その上空にドローンを飛行させてみると、山頂付近にかかる雲が石転び沢雪溪（右奥）へつながり、その流れが沢になり足元まで下りてきているように見え、神秘的な空間が広がっていました。日々の疲れを癒してくれる場所がすぐそこにあります。一度体験してみたいいかがですか。